県連情報

群馬県生活協同組合連合会
前橋市大手町 3-19-3
TEL 027 - 234 - 2376
４月号（No８１）
2014年４月７日発行
『県連情報』はホームページでもご覧いただけます
http://gunma.kenren-coop.jp/
Eメール：mail@gunma.kenren-coop.jp

福島復興支援活動学習交流会を開催　3月17日(月)
活動交流と福島県連佐藤専務の講演を聞く

県連は災害対策協議会と共催で３月17日（月）、群馬県公社総合ビル（前橋市大渡町）において「福島復興支援活動学習交流会」を開催し、組合員、役職員４５名が参加しました。

第１部では３生協から報告を聞き、復興支援活動について交流しました。

利根保健生協「福島復興支援活動の報告」（報告：細田直行さん）

片品村が南相馬市から950人の原発避難者を受け入れ、片品診療所では毎日　“福島弁”が飛び交うようになり、組合員の「私たちも何か支援したい」という声をきっかけに、医療生協らしい活動を活かした数々の交流会やリクリエーションを開催してきたことなどについて報告をいただきました。

パルシステム群馬「復興支援取り組み報告」（報告：村上哲彦さん）

３年間の東日本大震災復興支援の取り組みの中で、会津若松市の仮設住宅に出向いて行なった対面販売の取り組みや、夏休みを利用して福島の子どもたちを群馬に招いて実施した「福島子ども保養プロジェクト　群馬満喫ツアー」などの報告をいただきました。

コープぐんま「東日本大震災復興支援の取り組み」（報告：松本勉枝さん）

震災直後から開始した緊急支援隊派遣の取り組みやボランティア活動、組合員活動の中での支援活動の数々、そして福島復興支援の活動（さくら会の活動、2度実施した福島応援ツアー、福島子ども保養プロジェクトinぐんま、福島の現状を知る旅の取り組みなど）について報告をいただきました。

第２部では「東日本大震災から３年 ～復興に向けた福島県生協連の取り組み～」と題して福島県生協連の佐藤一夫専務理事からお話をお聞きしました。

原発事故から３年たった今も、生活環境の変化や先の見えない深刻な状況が続く中で、避難生活へのストレスにより高齢被災者が体調を悪化させている問題や、子供を連れて自主避難したママ達が自己肯定感を失っている状況、子どもたちの中には抑うつ、集中困難、不安・恐怖などのストレスが増え深刻なことなど、報道では伝わってこない実態を知り、驚きを越えるものがありました。そうした中で、福島県生協連が取り組んでいる福島子ども保養プロジェクトや、土壌スクリーニングと自主検査などで農畜産物の安全性を逐一確認し公表するなどして風評被害や偏見とたたかっている取り組みなどが報告されました。

佐藤一夫専務理事

佐藤専務理事の「福島を忘れないで欲しい」という言葉に応え、どうすればよいのか考え、行動することが復興を支援する私たちの責務ではないでしょうか。

フートピア２１国際協同組合デー記念交流集会
富岡製糸場と絹産業遺産群を視察しました

3月6日(木)

フートピア２１主催の「第９１回国際協同組合デー記念交流集会」が３月６日（木）開催され、今年６月に世界遺産登録を目指す富岡製糸場と絹産業遺産群を見学しました。（“フートピア２１”は群馬県生協連、JA 群馬中央会、県森林組合連合会、県漁協で構成し、県内の協同組合間連携を深める活動などを行っている組織です）

富岡製糸場では世界遺産としてどのような価値が認められたのか、ボランティアガイドさんの説明と見学を通して知ることができました。それは西欧諸国に良質で安価な絹を供給したことによって、庶民には高嶺の花であった絹製品を誰にも身近な存在に変え、生活や文化を豊かにした世界に対する功績と、全国から集められた工女の教育を通して日本各地の絹産業化を支えた功績であったとのことです。

途中、コープ藤岡店で昼食をとり、田口店長から説明を受けたあと店舗を見学しました。魚介の鮮度や魚種の多さ、魚屋さんのような対面販売にみな感激していました。

午後は絹産業遺産に登録となる高山社跡（藤岡市高山）と田島弥平旧宅（伊勢崎市境島村）を訪ねました。

高山社（左）と田島弥平旧宅（右）を視察しました

高山長五郎は通風と温度管理を調和させた「清温育」という蚕の飼育法を確立し、養蚕教育機関「高山社」には国内のみならず海外からの留学生も多数学んだとのこと。田島弥平が考案した換気を重視した「清涼育」は、良質の蚕種生産技術を確立、どちらの技術も世界が求める高品質な生糸の生産に不可欠なものでした。それぞれの農家建築は近代養蚕農家建築の原型となっているそうです。

消費者行政懇談会が開催
群馬県消費者基本計画について意見交換を行いました

3月19日(水)

群馬県生活文化スポーツ部消費生活課と消費者ネットワーク群馬（中嶋源治会長）の共催で、３月１９日（水）、平成２５年度消費者行政懇談会が開催されました。群馬県で初めて策定された「群馬県消費者計画」について県から報告を受け、意見交換を行いました。

懇談会には、消費生活問題審議会の各委員、消費者ネットワーク群馬の構成団体（群馬県消費者団体連絡会、群馬県くらしの会連絡協議会、群馬県生協連、消費者行政充実ぐんま会議）、群馬弁護士会、群馬司法書士会から２０名が参加、群馬県からは消費生活課長・次長ほか企画指導係、消費者支援係から８名が参加しました。

消費生活課関隆之課長と消費者ネットワーク群馬中嶋源治会長があいさつを述べたあと、「群馬県消費者基本計画」について説明を受け、質疑応答と意見交換を行いました。

「群馬県消費者基本計画」は県民が安全で安心できる消費生活の実現のために、消費者被害の根絶や消費者トラブルの根絶など３つの目標にむけ、消費者の安全・安心の確保や消費者の自立への支援など４つの基本方針を定め、関係機関や団体との連携強化などをうたっています。今後この基本計画は、群馬県の総合計画（第１４次）「はばたけ群馬プラン」の生活分野における個別基本計画として位置づけられ、群馬県の消費者行政の充実が図られます。

群馬県生協連をはじめ県内の消費者団体が長期にわたり消費者行政分野の「基本計画」策定を強く要望してきましたが、関係者の努力の結果ようやく実を結んだと言えます。

説明の後、出席したメンバーからたくさんの意見や質問、要望等が出され意見交換を終了しました。

食の安全･安心県民ネットワークが地域語部の会を開催　2月24日(月)
「無添加は本当に安全なの！？」長村洋一先生が講演

ぐんま食の安全・安心県民ネットワークは群馬県及び高崎市との協働事業として２月２４日（月）、第１３回地域語部の会を開催しました。鈴鹿医療科学大学教授の長村洋一先生を講師に招き、「無添加は本当に安全なの！？～知っておきたい！食品添加物～」と題して話を聞きました。定数８０名で募集しましたが応募が殺到し、枠を１８０名に拡大しての開催となりました。

長村先生は、食品添加物をめぐり“無添加は安全”“人工は危ない、天然は安全”などの誤解が蔓延していると述べ、なぜそうなってしまったのかや、食品添加物の安全性に対する誤解について分かり易く解き明かしてくださいました。

県･市消団連が日生協商品検査センターを視察　2月27日(木)

２月２７日（水）、前橋市消団連と群馬県消団連の共同の視察研修会が開催され、日本生協連商品検査センター（埼玉県蕨市）を見学し、１６名が参加しました。商品検査センターでは理化学検査２グループの西村マネージャーさんから検査センターの概要についてレクチャーを受けたあと、施設の案内をしていただきました。

流通業の中ではトップクラスの水準を誇る日本生協連商品検査センターの施設や検査体制を見て、参加者からは「生協の品質や安全性を確保するための最新の取り組みを実感した。他のかたに伝えていきたい」との感想をいただきました。

このあと上野公園に立ち寄り開催中のモネ展の観覧や公園の散策などを楽しみました。

県民ネットワークが県との協働事業「食の現場探究隊」を開催
ヤクルト茨城工場と農業生物資源研究所を見学　3月12日(水)

食の安全・安心県民ネットワークは、３月１２日（水）に「第１１回食の現場探求隊」を群馬県との協働事業として開催しました。今回は「食に関連する施設を訪問し、食の安全確保の取組みを探求する」をテーマに、ヤクルト本社茨城工場（茨城県猿島郡）と独立行政法人農業生物資源研究所（茨城県つくば市）を見学しました。この現場探求隊には抽選で選ばれた３８名の県民が参加しました。

ヤクルト本社茨城工場は最新鋭の設備、機器を整えた工場で、関東エリアを中心に毎日１００万本を出荷しているとのこと。徹底した衛生管理の状況などを見学しました。

また、農業分野における生命工学研究の中核機関である独立行政法人農業生物資源研究所では、遺伝子組換え推進室長から遺伝子組換えの基礎的なお話しや、具体的な研究の内容等について広範囲にお聞きしました。

第５５回通常総会開催のご案内

日時　2014年６月17日(火) 10:00～12:00

場所　前橋市総合福祉会館第１・第２会議室

前橋市日吉町二丁目１７－１０　(TEL 027 - 237 - 0101)

第１号議案　２０１３年度事業報告及び決算関係書類承認の件
第２号議案　２０１４年度事業計画及び予算決定の件
第３号議案　役員報酬総額承認の件
第４号議案　役員選任の件
第５号議案　会員除名の件
第６号議案　議案決議効力発生の件

恒例のライフプランセミナーを開催しました　2月7日(金)

恒例となっている「ライフプランセミナー」を２月７日（金）群馬県勤労福祉センターで開催しました。会員生協の役職員を対象に、ファイナンシャルプランナーとして活躍している高橋瑞枝さんを講師に招き、「定年後のマネープランの考え方」について講義をしていただきました。

公的年金制度の体系、振替加算支給を含む受給額の計算方法、在職老齢年金、高年齢雇用継続給付、定年後の暮らし方と密接に関わる退職後の健康保険に関する知識や雇用保険の活かし方など盛りだくさんの事がらを学習しました。セミナーは午前１０時から午後３時までと長時間でしたが、これからの人生を安心して過ごすためのプラン作りができるとあって、参加者は皆、真剣に講義を聞き、ペンを走らせていました。

講師の高橋瑞枝さん

県連便り

県連活動日程

4月　3日県消団連幹事会
　　7日県連事務局会議
　　9日第10回女性協運営委員会
　　17日第6回常務理事会、行政・生協懇談会
　　18日県連災害対策協議会
　　21日前橋市消団連幹事会
5月　8日県連組織部会、県消団連幹事会
　　12日県連事務局会議
　　13日食肉公正協理事会
　　14日第11回女性協運営委員会
　　15日第6回理事会
　　20日群馬県消団連総会
　　21日前橋工科大生協総代会
　　26日高経大生協総代会
　　29日食肉公正協総会
　　30日太田情報総代会

第５回県連理事会報告

日　時　2014年3月20日（木）10時00分～
場　所　全労済群馬県本部 おおわたりホール 会議室

議事及び内容

□ 協議事項

1、2014年消費者まつり（中止）
2、第55回県連通常総会について
3、消費者政策課題について
4、食品安全の強化に係る課題について
5、県連災害対策、危機管理について
6、フートピア２１の課題について
7、その他（行政生協懇談会他）